



第17回身近な水環境の全国一斉調査結果概要

発行日 2020年12月5日
編集 全国水環境マップ実行委員会事務局
発行 全国水環境マップ実行委員会
発行所 全国水環境マップ実行委員会事務局
問合せ先 全国水環境マップ実行委員会
事務局 みずとみどり研究会気付(申込・問合せ)
〒185-0021 東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202
TEL/FAX: 042-327-3169
E-mail: mizutomidoriken@ybb.ne.jp
URL: <http://www.japan-mizumap.org>
発行部数 6,000部



本調査は公益財団法人河川財団の河川基金の助成を受けて実施しています。

後援 国土交通省 環境省

印刷 エキノックス

第17回 2020

身近な水環境の 全国一斉調査

●●笑顔でつなぐゆたかな水辺●●

第17回 調査結果概要

2020

目次

I 調査の背景	P.1
II 調査の実施手法	P.2
III 調査結果の概要	P.3
全国一斉調査諸データの推移	P.4
2020 全国水環境マップ 第17回 身近な水環境の全国一斉調査結果	P.5
2004 全国水環境マップ 第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果	P.6
IV 各ブロックでの調査結果	P.7
北海道地方	P.7
東北地方	P.8
関東地方	P.9
北陸地方	P.10
中部地方	P.11
近畿地方	P.12
中国地方	P.13
四国地方	P.14
九州・沖縄地方	P.15
V 一斉調査結果の活用事例紹介	P.16
VI 継続調査参加団体	P.19
VII 全国水環境マップ実行委員会名簿	P.20
VIII 身近な水環境を調べよう! 第18回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い	P.21
第18回 身近な水環境の全国一斉調査 参加申し込み用紙	P.22

※「身近な水環境の全国一斉調査」は、毎年6月に統一調査日を設け、2004年から市民団体と河川管理者が連携して、全国の河川や湖沼など身近な水環境の水質を調査しています。
本誌は、その結果をマップとしてまとめ、参加者のみなさんのご意見も掲載しました。

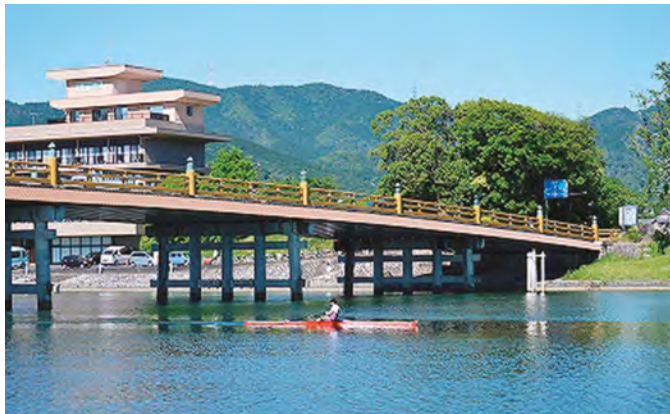
調査器材は(株)共立理化学研究所から提供を受けています。

全国水環境マップ実行委員会



I 調査の背景

近年、河川や水辺など身近な水環境の保全や修復に関する市民の意識が高まっています。市民や学校の子どもたちによる身近な川の一斉調査は1980年代の半ばから、多摩川・荒川の流域や霞ヶ浦・琵琶湖の流域など全国各地で行われてきました。しかし、調査の方法や項目などは必ずしも統一されておらず、水質の測定精度も十分に保証されていません。このような多くの市民調査の結果を有効に利用するためには統一的な調査マニュアルを作成し、測定精度の管理システムと全国各地の結果を比較できるデータベースを確立することが重要です。



多くの市民や学校の子どもたちが統一的な調査マニュアルにもとづき、身近な水環境を全国一斉で調査し、その結果をわかりやすいマップで表現することにより、全国の状況が一目でわかり、身の回りの環境に関する市民の理解と関心がさらに深まることが期待されます。

【身近な水環境の全国一斉調査のはじまりと10年間のまとめが一冊の本になりました。】

調査を実施するようになった社会的背景からどのようにして全国一斉調査がはじまったのか。そして、どのように全国に広まったのか。これまでのデータのまとめも含めて身近な水環境の全国一斉調査が一冊の本になりました。身近な水環境の全国一斉調査10年の歩みがわかる「見る 知る 調べる水」（（有）全国環境研究会誌事務局 発行：2015年）は全国水環境マップ実行委員会事務局から定価1,500円（税込）送料別で販売中です。



「身近な水環境の全国一斉調査」は2004年6月に開始され、17年間で延べ116,947人を超える市民や学校の子どもたちが参加し、全国の調査した水辺の延べ数はおよそ92,204地点です。今後もこの調査を継続することで、水環境の保全に関する市民の意識が高まり、さらに多くの地点で調査が実施されることを期待されます。

目的と意義 ～自分たちで調べて、環境保全につなげよう～

1. 身近な水環境を簡単な方法を用い自ら調査することにより、その実態を知ることができる。
2. 統一的なマニュアルに基づき調査を行うことにより、調査結果を相互に比較する際の精度が向上する。
3. 身近な水環境の調査結果をすぐに知ることができる（行政による水質調査結果の公表はおおよそ1年後である）。また、全国の結果も速報値として数か月後に知ることができる。
4. 河川などの流域で、多くの人たちが調査に参加することにより、面的につながりのある結果が得られる。
5. 同一条件で調査した身近な水環境と他の地点の結果を比較することにより、身近な水環境の状態を評価できる。
6. 身近な水環境を流域、さらに広域の環境へ結びつけ、水環境の保全を考えるきっかけとなる。
7. 水の汚れの原因を調べ、考えるきっかけとなる。
8. 汚れの原因が明らかになれば、水環境を保全・修復するために、身近にできる実践活動に結びつけることができる。
9. 調査に参加した多くの人たちと連携の意識をもつことができる。
10. 子どもたちが調査に参加することにより、100年の眼で将来に活動を引き継ぐことができる。

II 調査の実施手法

調査の概要

調査日：2020年6月7日（日）を中心に実施
調査者：『全国水環境マップ実行委員会（委員長：小倉紀雄・東京農工大名誉教授）』のもと、河川の水質に関心のある市民団体や学校などが参加。
調査内容・方法：調査マニュアルに基づき、気温、水温のほか、バックテストでCODを測定。

調査項目

●気温・水温・試水水温

一斉調査の調査票には、現地の気温・水温・試水水温と3種類の記入欄があります。現地の気温と水温を記入することで、同一日に行なった各地の気温と水温の分布を全国規模で把握することが出来ます。また、バックテストでCODを測定するためには試水水温が重要な要素であり、試水水温を測定することでバックテストの反応時間を把握して、より正確な測定を実施することができます。

●COD（化学的酸素要求量）

COD（Chemical Oxygen Demandの略称）は試水中にどのくらい酸化される物質、主として有機物があるかを示すもので、水中の有機物量の目安となります。河川水の一般的なCODの値は、きれいな水で1～2mgO/L程度ですが、水が汚れるにつれて値が大きくなります。今回の調査も同一のロット番号（製造番号）のバックテストを用いて、同一試料を3回測定し、その中央値を採用することでより正確な測定値を得ることができます。

※バックテストは、株式会社共立理化学研究所の登録商標です。

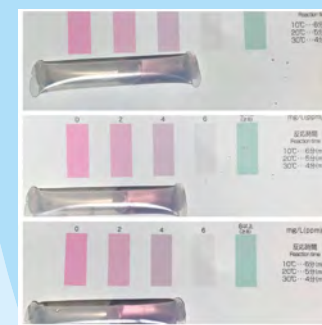
調査の手法

●採水

- ①雨天や増水などによる調査の中止も考慮し、これまでに調査継続してきた地点や新たに調査してみたい地点を決定します。調査地点を調査票に記入します。
- ②より正確なデータ測定のため、水質の時間変化を考慮し採水時間は午前中に行います。
- ③試水を入れる容器は予め良く洗って乾かし、採水地点名・記号・採水日時を明記しておきます。採水器具や試水を入れる容器は採水を行う川の水で十分に共洗いします。
- ④浅く流れが穏やかな川では、川に入り川の中央で上流に向かって採水し、深い川や流れの速い川では、橋などの上からロープをつけたバケツを下ろし採水します。舞い上げられたゴミなどが混入しないよう十分注意して行います。
- ⑤調査月日・調査時刻・天気とともに、採水地点の気温と採水した試水の水温を測定し調査票に記入します。

●CODの測定

- ①試水の水温を測定し反応時間を決定します。
- ②添付の操作手順書に従い測定します。
- ③反応時間終了後ただちに標準色と比べ測定値を調査票に記入します。
- ④同じ試水で3回測定します。



Ⅲ 調査結果の概要

調べてわかる 身近な水辺

新しい生活様式での市民活動と水質調査

7月に熊本の球磨川の氾濫をはじめ、九州地方などに豪雨があり、被害にあわれた皆さまにはお見舞い申し上げます。

今年は新型コロナウイルス感染症が世界的に広がり、日本国内でも行動自粛など4月から対策が取られてきました。本調査はこの事態より、全国一斉調査日を設定するものの、調査については各参加者に一任して安全に行えると判断されたときに実施することにして、調査の期間も大幅に広げ年度内であればデータを採用することにしました。

参加者の皆さんからは、安全対策として子供たちの参加の制限や地点数を減らして行動時間を少なくしたなどのコメントがありました。

調 査 日	2020年6月7日（日）
全国統一日	参加団体数 262団体（個人参加含む）
調査地点数	1,289地点
期 間	2020年5月7日～9月11日まで
調査総数（全国）	参加団体数 577団体
地点総数	3,802地点
	※今年に限り、調査期間を延長して集計いたしました。

調査のまとめ

今年はコロナ禍で参加者や本調査を通じて地域での環境イベントを企画している方には調査実施の判断は悩ましい状況下にありましたが、本紙結果概要集計締め切りまでに47都道府県で約3,800地点の調査が実施されました。本紙作成のために一旦集計を締め切りましたが、その後も調査結果が送られてきていますので最終的な調査結果はホームページで公表いたします。

全国の水質調査の結果は、0～3mg/L未満の地点が46%、3～6mg/L未満の地点が38%、6mg/L以上の地点が16%で、昨年に続きCOD値が0～3mg/Lの地点が多い結果となりました。

参加者からのコメントでは、「例年と異なり、水辺に人が少なく感じる」や「人がこないせいか、草がたくさん茂っている」といったコメントが複数あり、調査の時期にはまだまだ新型コロナウイルスの影響があり、水辺にも人がまばらだったようです。調査者の皆さんも調査時間をなるべく短くするために、生物調査やそのほかの観察はせずに水質のみとしたところも多かったようです。

【ご寄付のお願い】

本調査は、現在、公益財団法人河川財団の河川基金の助成金で、調査器材はバックテスト・メーカーの（株）共立理化学研究所のご厚意で無償提供していただき運営しています。

しかし、年々値上げする郵送費やデータ集計のための諸経費の工面が困難になっています。

実行委員会でも様々な提案をしてお対応していますが未だ成果にはつながっていません。

こうした諸般の事情をご理解いただき、本調査にご支援をいただける方は、下記の振替口座にご協力のほどお願い申し上げます。

ご寄付いただく皆さまへ
郵便局備付けの用紙で振込みをしていただく場合、お手数ですが「寄付」又は「一斉調査寄付」とご記入ください。
なお、寄付金は、全国調査のデータ集計や郵送費等、本調査の運営に活用させていただきます。

郵便振替口座に直接お振込みの場合	銀行口座等からお振込みの場合
口座名称 全国水環境マップ実行委員会	ゆうちょ銀行 支店名 国分寺南
口座記号番号 00150-0-514970	店番 〇一九 当座 口座番号 0514970

ご寄付をいただいた方々（団体または個人のお名前）

古川 道夫 様、田中 徹 様、原田 武司 様、Kie & Koki 様、沖野 外輝夫 様、さとしょうエコクラブ 様、飯島 利三 様、賀登 環 様、金子 博 様、パソナ・パナソニックサービス株式会社岡山サービスセンター、アークコーポレーション株式会社、株式会社伊豆倉組 様、栄 孝清 様、坂井 京子 様、浅川市民フォーラム 様、木場潟再生プロジェクト 様、加藤 功 様、せせらぎねばねっと 様、咸泳植 様、阿部 政雄 様、田中 尚志 様、奥村 國彦 様、留明川を楽しむ会 様、モリ ユウソウ 様、梶川 努 様、みどりの会 様、羽村・水と緑の会 様、程久保川を考える会 様、香美市婦人会 様、清水一東町会 様、高見 徹 様、高島 鉄宜 様

全国一斉調査諸データの推移

●年別 参加団体及び調査地点数集計結果

作成：全国水環境マップ実行委員会

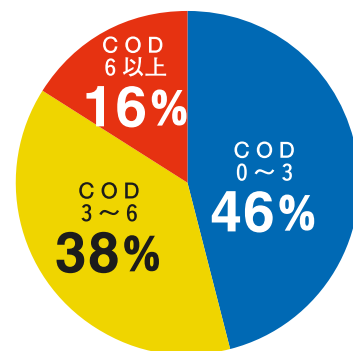
都道府県名		2004 年		2005 年		2006 年		2007 年		2008 年		2009 年		2010 年		2011 年		2012 年		2013 年		2014 年		2015 年		2016 年		2017 年		2018 年		2019 年		2020 年	
		団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点
1	北海道	7	26	17	48	20	112	38	179	48	273	41	184	35	264	33	158	35	202	28	139	29	131	24	131	25	131	36	435	28	486	26	214	19	112
2	青森県	11	35	14	35	11	24	13	41	13	30	6	19	7	31	8	31	9	22	5	15	5	16	6	19	5	17	5	19	7	69	7	60	4	12
3	岩手県	8	24	21	35	12	30	13	36	9	41	12	24	11	76	12	49	7	18	6	16	7	23	4	12	2	6	3	13	6	48	3	53	5	23
4	宮城県	5	58	11	95	17	122	8	96	7	92	13	110	7	70	7	30	10	43	9	36	6	27	6	25	6	29	6	30	8	65	5	73	5	18
5	秋田県	2	5	9	27	9	30	10	44	16	50	6	42	5	24	4	11	4	13	3	8	2	6	2	7	2	5	5	30	6	42	5	34	3	9
6	山形県	105	271	112	275	80	211	28	55	60	162	21	50	23	50	2	51	2	51	2	53	3	54	2	52	2	52	2	52	4	114	5	55	3	53
7	福島県	1	3	4	4	2	3	11	38	12	46	6	38	4	87	5	48	6	87	6	42	6	42	7	78	8	48	10	69	10	176	9	105	7	28
8	茨城県	46	235	43	303	38	295	30	295	27	283	34	293	30	278	30	297	34	293	43	320	41	295	43	305	40	286	37	285	36	321	35	269	29	194
9	栃木県	2	4	2	4	9	27	12	41	6	25	6	16	4	9	3	5	6	15	4	6	4	11	5	10	6	11	7	13	8	49	9	43	4	18
10	群馬県	2	2	10	39	9	36	8	23	6	48	9	54	6	51	5	46	5	69	5	44	10	121	9	76	9	81	10	114	9	123	9	158	8	65
11	埼玉県	47	252	94	444	87	438	46	450	110	603	79	470	75	539	66	454	70	477	61	450	61	468	63	486	64	399	63	441	65	461	68	522	54	362
12	千葉県	4	16	13	40	40	114	17	98	16	97	17	82	19	79	15	66	18	85	18	159	18	133	18	111	16	221	19	186	17	209	15	137	14	69
13	東京都	87	373	116	546	112	521	120	543	113	640	111	648	116	723	94	599	111	630	105	689	109	651	106	681	100	608	106	634	89	627	88	568	76	439
14	神奈川県	19	72	29	193	39	220	41	256	23	236	28	230	35	266	30	277	36	298	38	321	37	378	39	374	37	385	39	470	33	423	34	419	29	327
15	新潟県	5	85	26	190	34	224	30	340	59	412	54	346	54	417	47	335	27	367	24	298	26	317	28	318	25	269	23	210	24	222	20	172	17	162
16	富山県	0	0	7	15	5	9	11	36	8	28	7	27	7	26	7	28	7	24	5	22	4	15	4	12	6	15	7	38	9	42	7	16	5	13
17	石川県	2	13	12	48	6	16	7	19	5	12	7	15	5	13	5	13	5	12	3	8	2	7	2	7	6	12	2	9	4	23	4	34	3	11
18	福井県	6	20	3	41	5	46	3	43	4	52	7	61	4	50	5	49	2	45	4	50	3	47	4	46	3	43	7	48	7	64	5	47	4	6
19	山梨県	49	213	70	250	41	161	36	160	36	147	42	163	41	163	43	194	41	162	40	169	39	171	40	208	39	196	34	225	33	191	32	150	28	110
20	長野県	4	11	19	68	8	64	10	53	14	97	26	130	19	116	26	196	25	208	28	222	23	289	25	380	22	303	29	364	30	366	24	247	24	187
21	岐阜県	5	23	9	29	9	31	9	36	16	55	18	71	10	33	11	26	14	35	15	35	14	40	15	101	16	42	18	45	19	76	14	24	7	40
22	静岡県	24	106	24	93	24	103	17	66	12	196	10	47	8	44	10	34	9	30	10	54	10	25	10	34	12	27	11	119	10	128	8	114	10	30
23	愛知県	22	66	35	142	31	115	27	70	38	89	54	164	33	110	22	78	26	114	25	114	23	127	20	118	26	132	22	114	27	162	22	85	19	49
24	三重県	2	55	11	79	13	82	11	101	8	97	16	121	15	106	9	47	9	44	8	39	6	17	9	33	10	48	11	37	6	51	8	23	5	18
25	滋賀県	4	114	54	473	63	605	86	739	87	773	114	709	110	760	98	721	116	646	103	594	96	588	93	600	87	547	83	514	81	501	74	494	44	405
26	京都府	4	40	7	55	9	49	7	54	6	101	21	108	18	111	18	119	19	104	15	71	15	104	12	60	11	54	11	80	9	59	9	67	12	44
27	大阪府	14	81	14	91	17	124	20	157	15	154	30	236	53	338	55	301	64	280	43	229	37	201	28	213	24	188	28	202	31	168	26	158	14	66
28	兵庫県	2	13	19	65	23	84	22	82	17	78	32	98	33	129	35	150	41	147	37	125	37	147	34	136	33	136	30	136	33	136	31	171	30	118
29	奈良県	2	7	13	26	7	46	6	31	9	31	23	56	12	42	16	55	18	56	15	42	14	44	13	31	10	22	11	24	12	35	10	24	7	15
30	和歌山県	0	0	5	20	2	6	5	13	9	27	7	14	12	28	6	22	14	48	8	22	4	22	4	19	5	14	3	34	3	43	4	15	3	12
31	鳥取県	3	8	4	11	2	4	4	6	4	10	3	4	1	2	2	4	2	4	2	5	2	5	3	21	2	3	2	6	3	32	2	31	1	1
32	島根県	1	2	3	6	4	12	1	2	2	10	5	20	3	13	2	11	3	15	7	16	8	28	4	81	3	31	4	31	4	89	3	35	2	17
33	岡山県	1	20	12	143	16	164	15	176	12	176	17	183	17	199	12	195	25	238	13	217	12	196	12	275	10	249	14	292	12	307	12	323	11	304
34	広島県	1	17	4	45	9	91	7	80	7	83	5	76	5	73	3	18	3	43	5	54	5	47	7	79	9	62	10	83	8	51	9	62	8	43
35	山口県	5	17	6	21	5	18	2	27	7	99	4	34	3	16	3	17	6	23	6	25	5	21	3	18	4	17	8	23	8	21	8	47	4	6
36	徳島県	8	74	16	72	12	29	24	147	23	95	13	54	9	38	103	376	38	142	36	144	31	158	30	140	23	85	22	103	17	80	15	70	13	47
37	香川県	1	2	3	9	5	12	8	18	5	17	6	19	5	16	4	12	5	12	4	13	3	12	3	12	2	10	3	10	3	35	3	37	1	3
38	愛媛県	7	60	39	519	13	166	14	219	11	285	11	209	17	210	14	237	13	150	11	133	6	175	6	155	5	145	7	132	8	124	9	138	6	88
39	高知県	8	33	29	96	34	99	60	197	21	52	26	68	17	68	16	72	17	58	10	43	14	45	16	53	14	84	12	51	11	69	11	49	13	52
40	福岡県	4	29	11	36	11	63	14	56	21	104	19	84	16	66	14	60	17	77	17	61	21	82	24	84	22	76	19	70	22	92	25	77	25	101
41	佐賀県	0	0	33	123	32	110	33	124	37	120	37	112	26	82	17	57	10	43	15	56	11	36	5	19	5	20	8	27	5	24	5	39	3	15
42	長崎県	0	0	7	16	9	15	5	10	4	10	5	12	6	13	4	12	6	16	8	25	7	73	7	34	4	12	6	187	4	228	4	329	2	3
43	熊本県	1	3	2	11	4	15	11	21	8	34	4	13	4	9	1	3	3	10	9	33	4	19	5	39	5	35	5	18	6	77	4	15	2	11
44	大分県	6	19	6	18	5	30	4	21	7	40	7	47	5	19	4	18	2	26	5	47	3	36	4	40	2	11	2	11	4	58	2	11	3	14
45	宮崎県	8	34	8	44	8	44	8	43	4	39	3	33	2	7	3	38	4	49	4	62	3	47	4	55	5	44	5	43	5	71	3	81	1	26
46	鹿児島県	0	0	12	41	15	70	14	77	9	59	10	55	2	7	3	8	7	14	4	8	4	13	2	11	3	12	3	5	3	31	3	152	6	10
47	沖縄県	2	4	13	34	12	33	11	54	6	33	7	34	7	38	8	32	8	36	10	63	6	34	8											

2020全国水環境マップ

第17回 身近な水環境の全国一斉調査結果

凡例

- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上

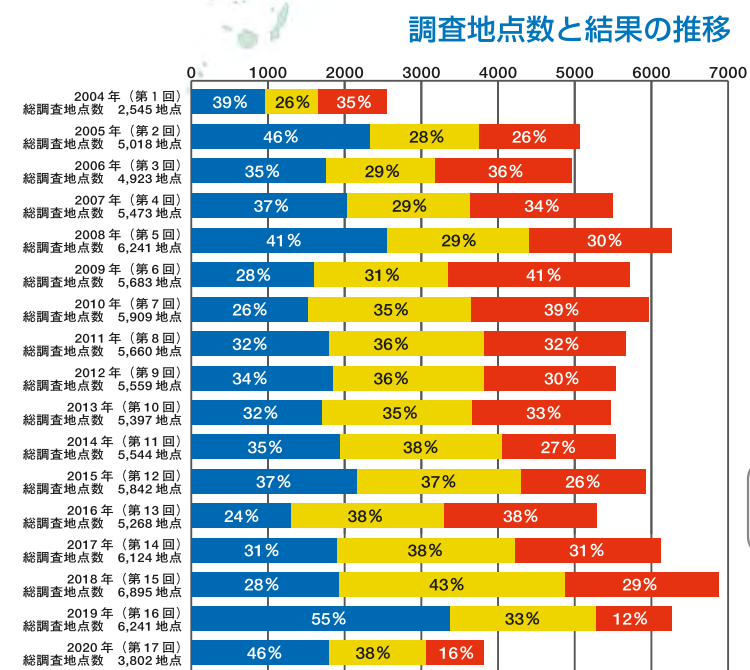


2004全国水環境マップ

第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果
水質調査の結果と分布

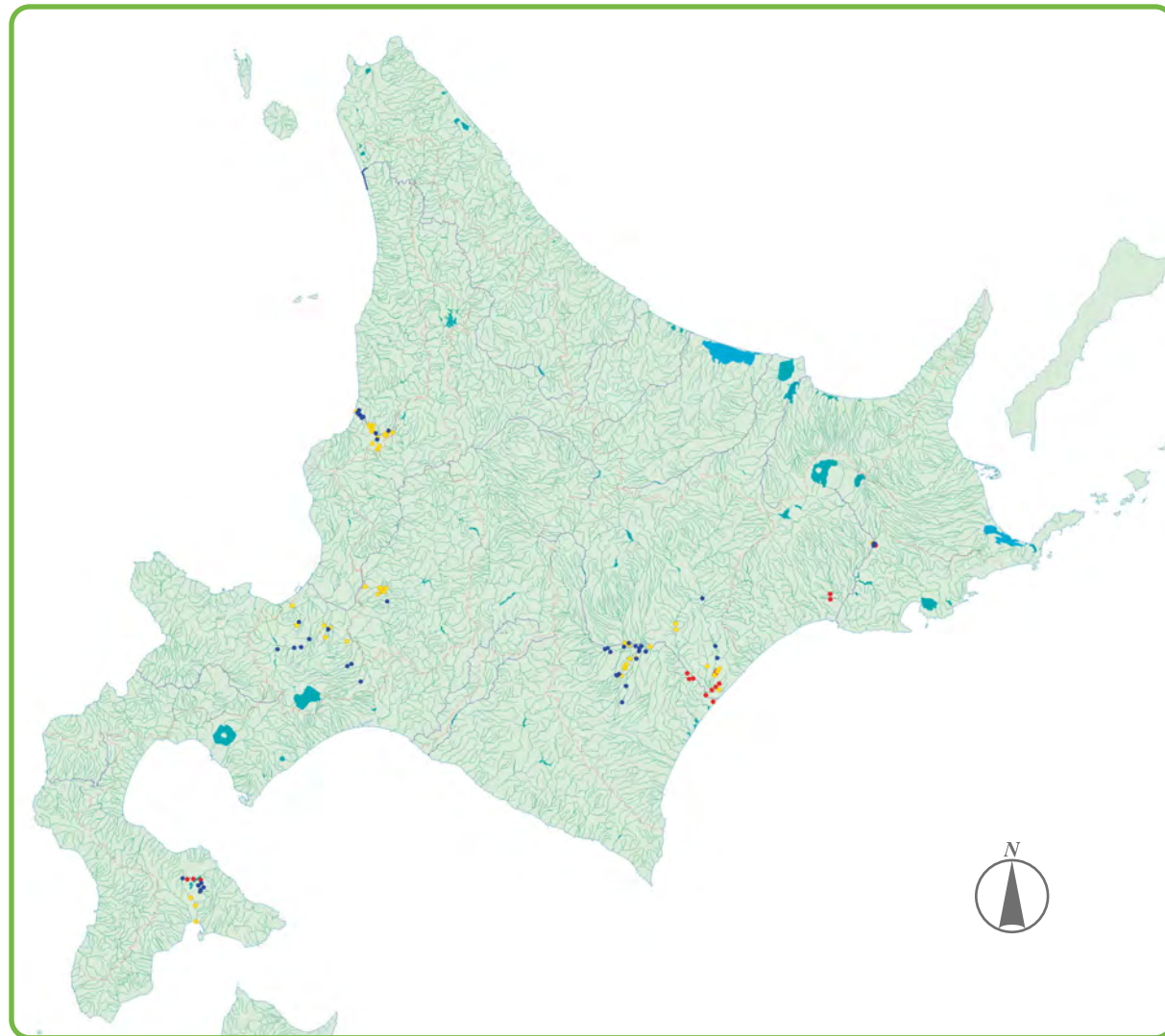
凡例

- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



IV 各ブロックでの調査結果

北海道地方

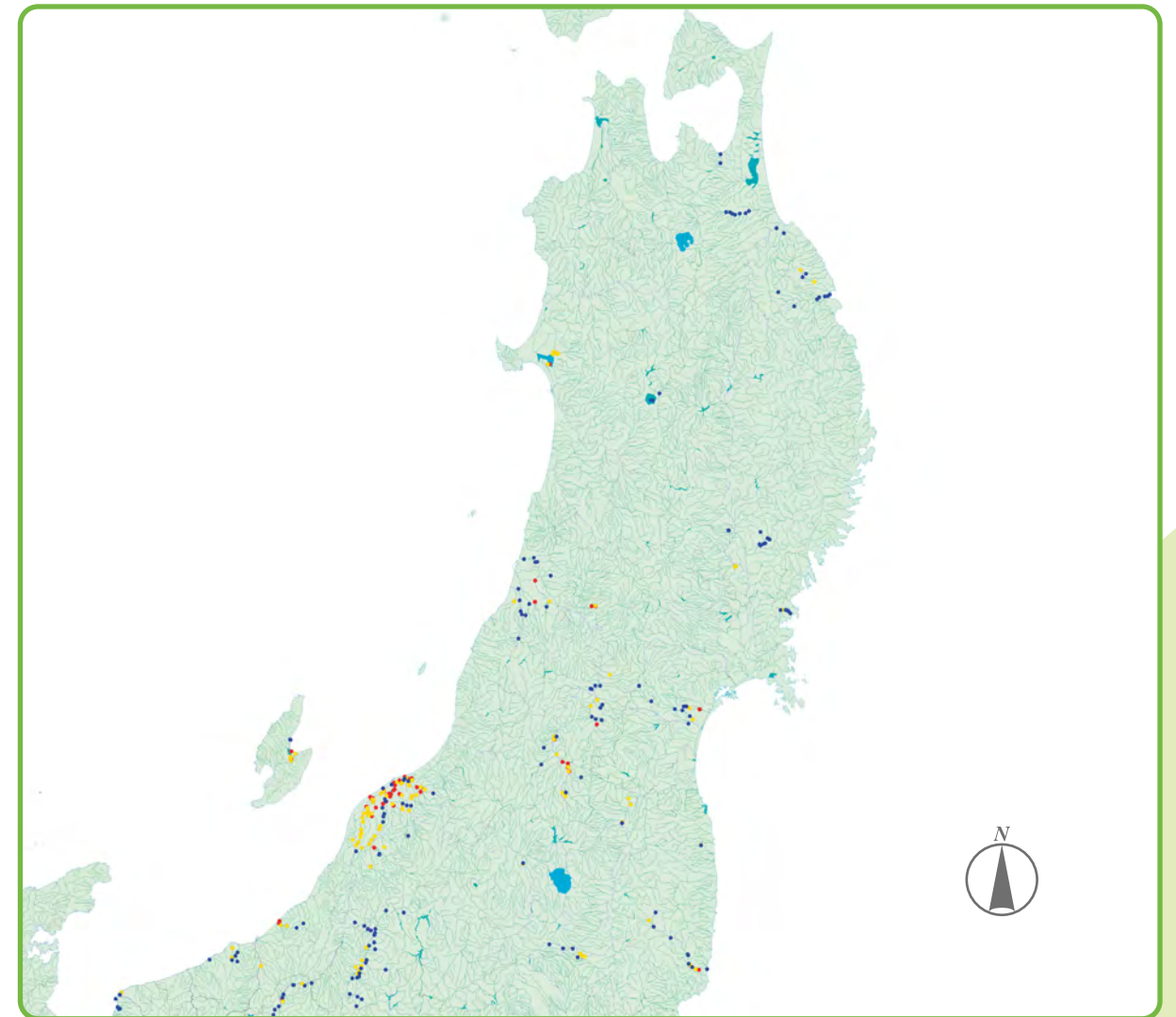


参加者からのコメント

- ・今年度の調査は新型コロナウイルス感染拡大リスクを避け小人数、短時間で行いました。したがって、調査に時間が要する水棲生物調査は中止としました。
- ・河畔植生はハンノキを中心にホザキシモツケなどの低木、ヨシ・スゲ類群落などの低層湿原植生からなる。川幅は約3～5m水深30～60cmほどだが湿原内では急激に深くなっている所もある。底原は砂礫、砂、落ち葉などの腐泥である。
- ・ゴミの散乱は例年のまま。付近での廃棄ではなく、漂着物と思われる。



東北地方



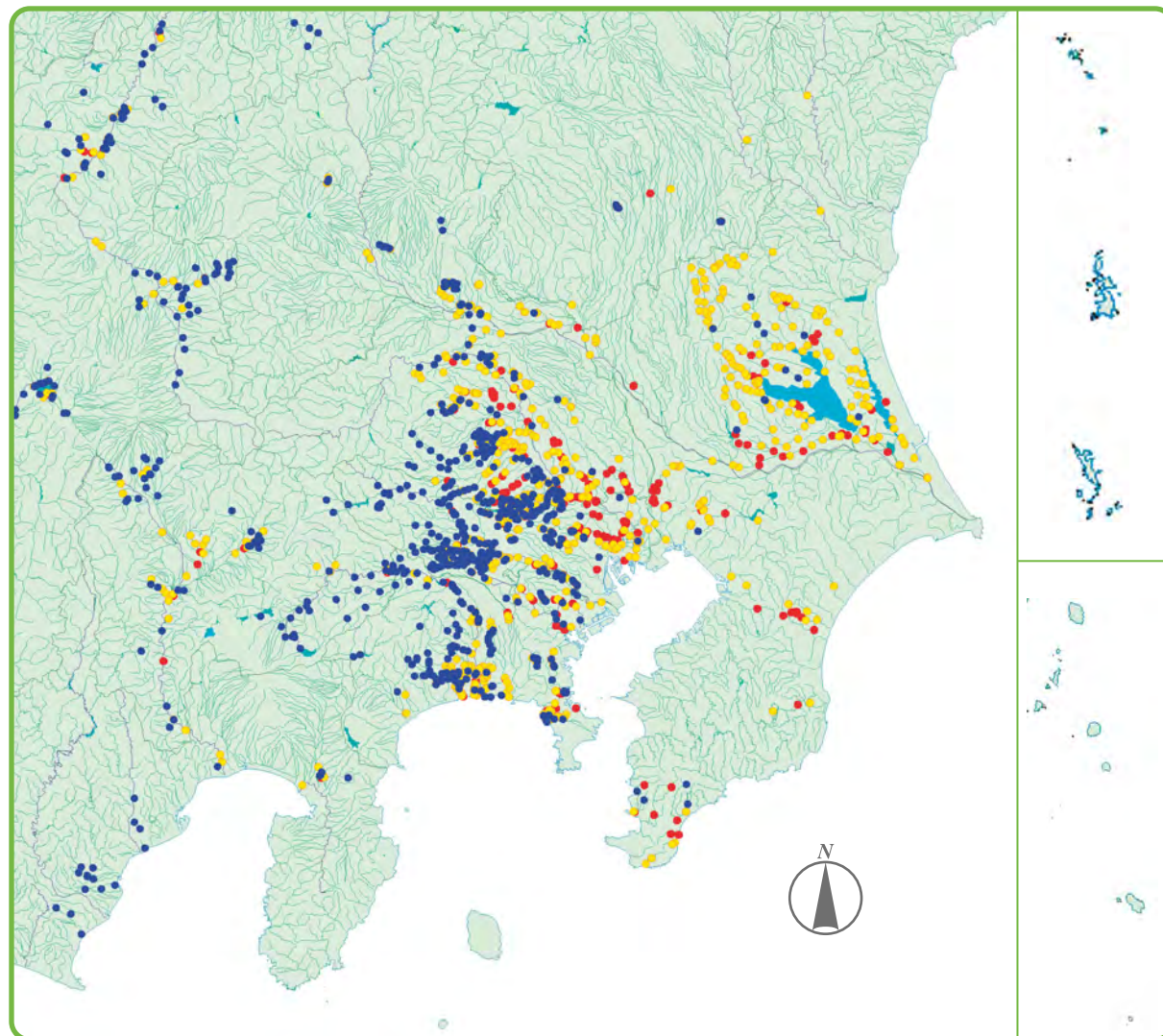
参加者からのコメント

- ・今年は、産ヶ沢川の下流部で1級河川阿武隈川との河口部近くに、カルガモの親子がいましたので、現場の状況写真に写しました。調査を始めた10数年前には汚れて泡立っていた水面も今年は澄んでいてカルガモの姿に癒される感じでした。
- ・兩岸の立木が伐採されてコンクリートの階段になり、緑が少なくなった。ごみも散乱し、水も黄色がかった。
- ・小中学校の総合学習活動支援や幼稚園、保育所の保育支援、自然の家や公民館事業支援、地域集落活動の支援等でいろいろな地点で調査活動を行っています。



IV 各ブロックでの調査結果

関東地方

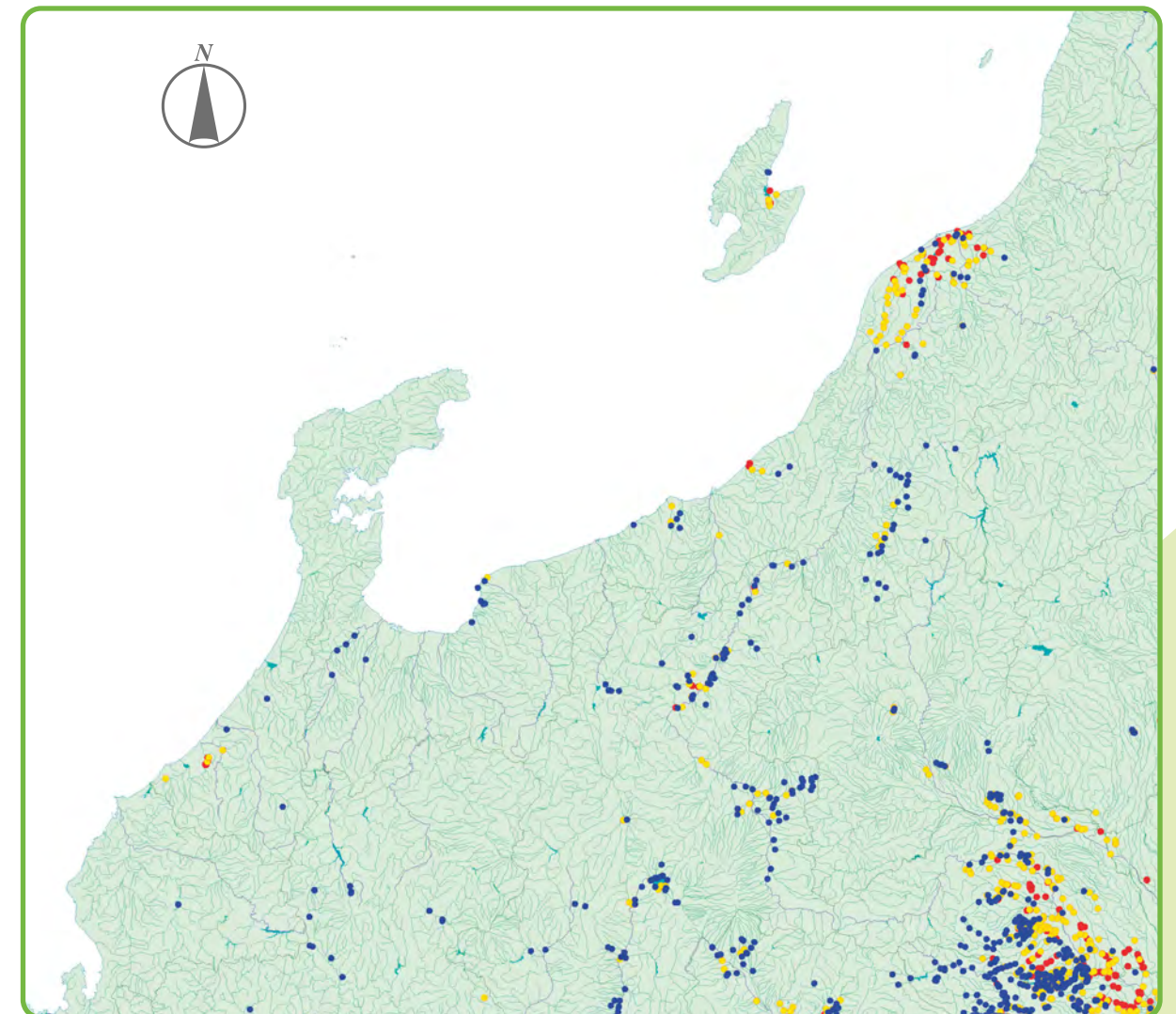


参加者からのコメント

- ・高齢化やメンバーの減少により子供たちを集めるイベントと水質調査を同時におこなうことは難しくなりました。また、今年度は調査途中での体調悪化で一時中断しました。
- ・新型コロナウイルスのため学生の参加募集は見合わせました。来年は好転することを願っています。
- ・金目川流域では、例年より調査時期が遅くなった関係で、水田からの代掻きの影響が小さくなったため、あるいは、梅雨の影響で水量が増えたためか、例年よりCOD数値が小さい傾向が出ています。
- ・去年の台風等で増水したことが何度かあり、川幅など変化し、流れが変わってきたような気がしました。



北陸地方



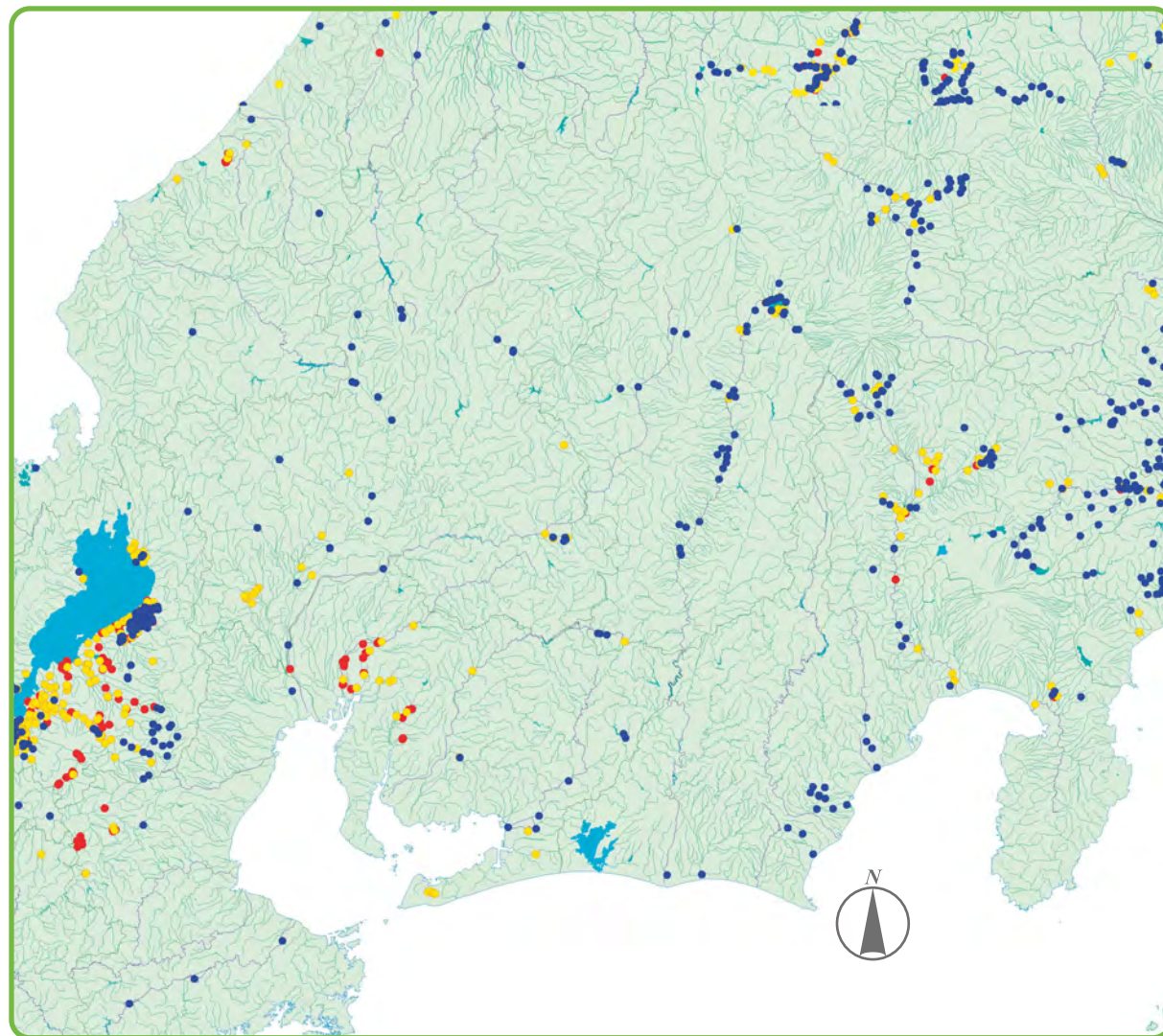
参加者からのコメント

- ・河川の草が年々多くなっている感じがする。
- ・全地点共通ごみはほぼなし。
- ・水質はまあまあだったが、透視度が全体に下がっている。例年川ゴミが目立っていたが、今年は本当に少なかった。
- ・木場漏水辺のまなびやで水質浄化教育を行い、その教室で水質調査を行っている。



IV 各ブロックでの調査結果

中部地方

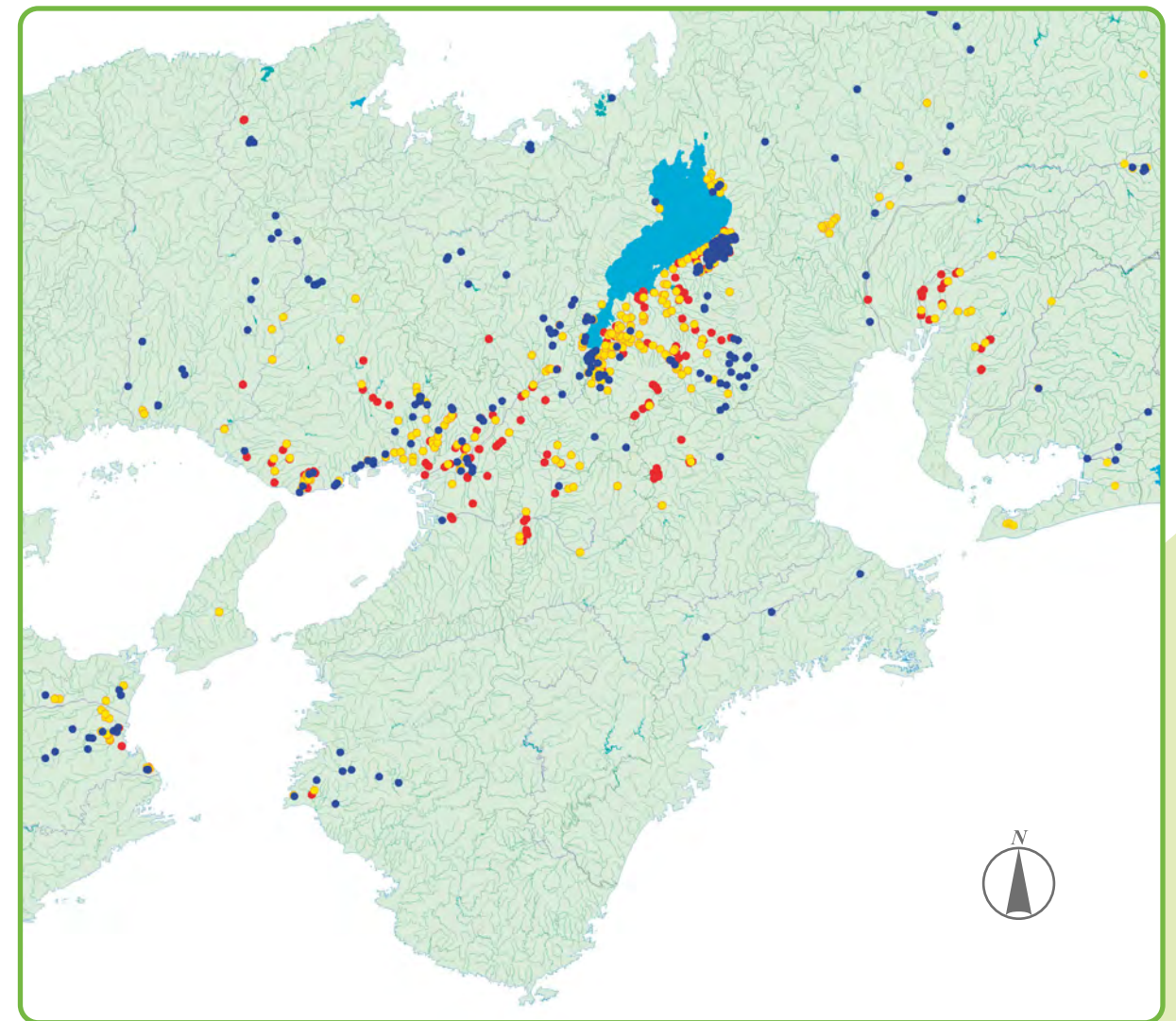


参加者からのコメント

- ・ 去年の台風のと、中州等の土砂を全て除去されたもので平らな広い川になった。
- ・ 今年は感染予防対応として人数制限、マスク着用、野外会場のレイアウトなど制限の多い運営となりましたが比較的多くの方に参加いただきました。
- ・ 17年参加していますが、2005年の愛・地球博のときにモリコロパークに水質調査をする娘の写真が掲示され、現在大学1年になりました。



近畿地方



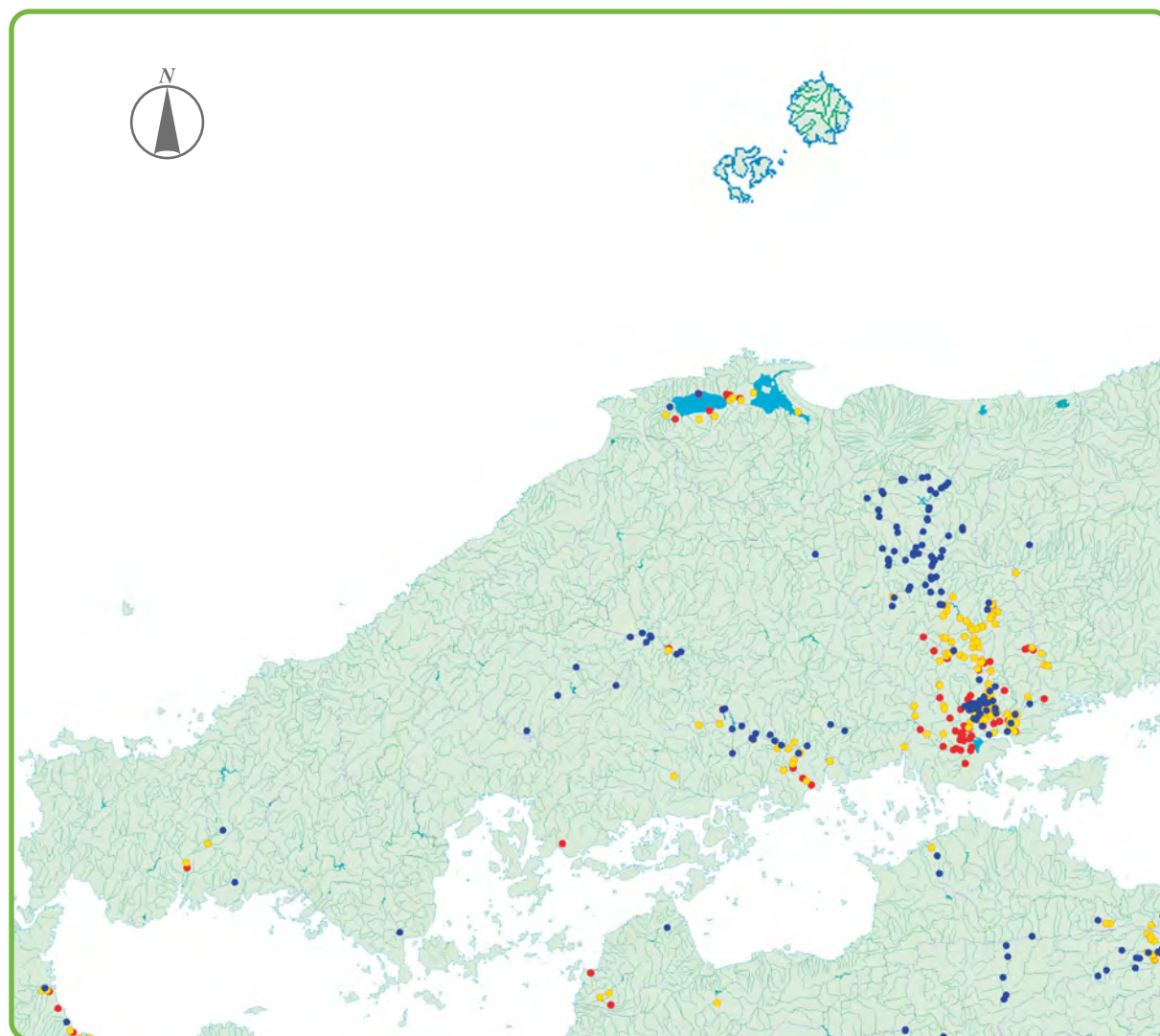
参加者からのコメント

- ・ 下流3地点では魚類調査とごみ拾い活動も併せて実施しました。将来的にはカワニナの調査もしたいと考えています。
- ・ 水量は普通程度で流れもあり、濁りは無かった。河川敷には最近の清掃により回収されたと思われるゴミ袋が積まれていた。
- ・ 渇水のため20m上流のJR鉄橋下の伏流前の水で測定する。アシ等の水草が繁茂し、ごみ多し。
- ・ いつも調査に参加させていただきありがとうございます。調査をきっかけに自然に興味を持つことができました。



IV 各ブロックでの調査結果

中国地方

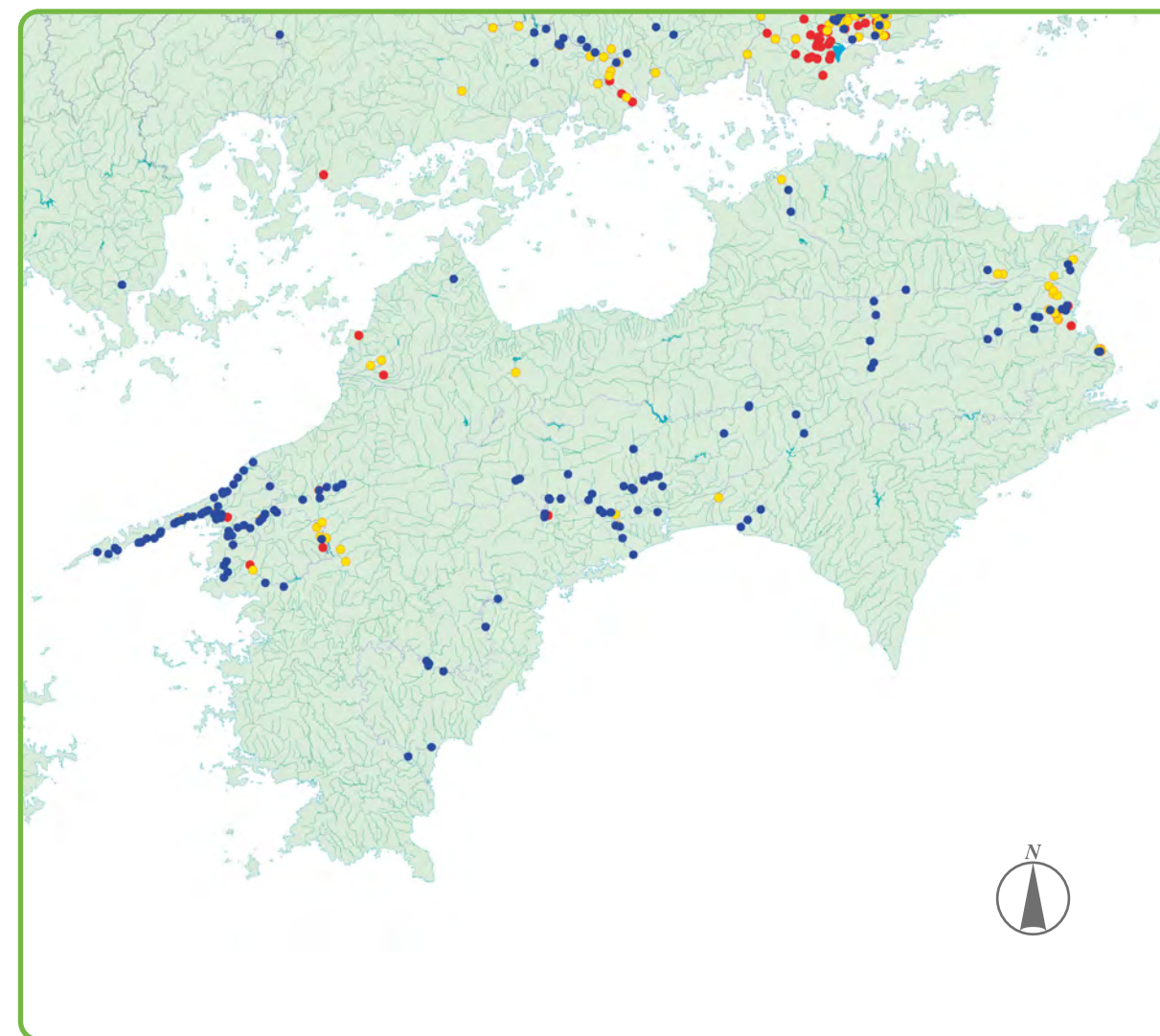


参加者からのコメント

- ・水の流れがあり比較的きれいな印象。水深が浅く、水草も多く見られる。コイが泳いでいた。石などに浮草とゴミが少し漂着していた。
- ・例年と変わりなく、美しい景色でした。昨年より良い結果でした。
- ・初参加、水生生物調査であれば8年程度は実施している。
- ・今年は、コロナウイルスの影響で、分散調査となりましたが、どうにか212箇所の調査を実施することができました。公民館等が活動の自粛をしているところもあり、参加人員の確保は大変でした。



四国地方



参加者からのコメント

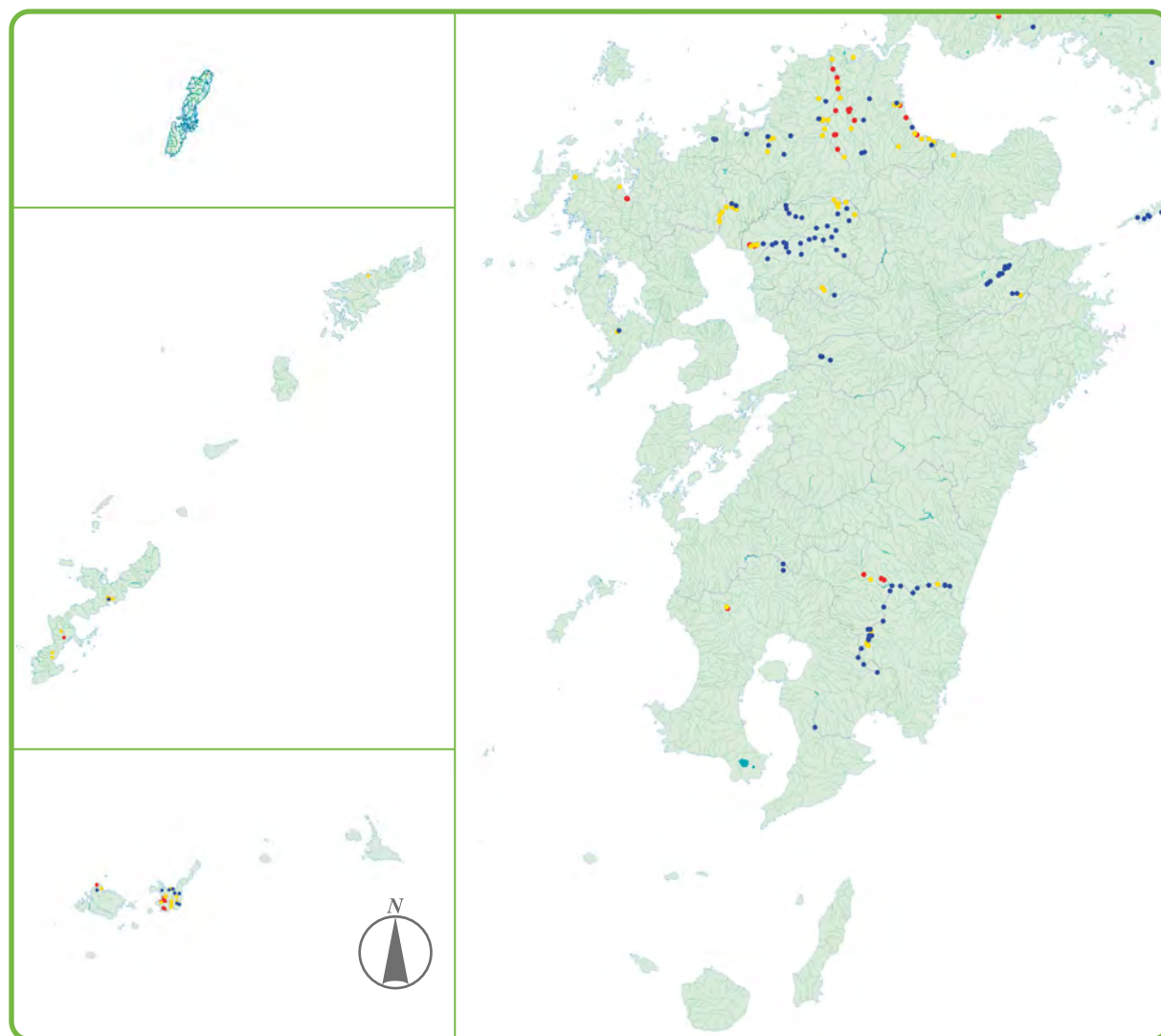
- ・数年前までは個人で参加させてもらっており、その後グループを作りました。調査をしたのは2名でしたが、それぞれ各人が家族や職場の方に話したりで関心を持ってくださる方が前回より増えました。今後は次の世代につないでいくように子供や若い世代の方に呼び掛けようと思います。
- ・前々日が雨だったため心配していたが水は美しく水温も低かった。夕方から夜8時ごろにかけて今年もホタルが多くみられた。コロナの影響が見物客は少なかった。
- ・当初調査を予定していた3地点のうち、松山市の小野川については、増水で河原に降りられなかったため、近隣の堀越川に変更しました。



IV 各ブロックでの調査結果

九州・沖縄地方

凡 例 ● COD 0～3mgO/L 未満
● COD 3～6mgO/L 未満
● COD 6mgO/L 以上



参加者からのコメント

- ・新型コロナウイルス対策のため、7月に実施が、6月末～7月初めは大雨が続き、梅雨の晴れ間の3日後に実施。雨がやんで3日経っていたため、川の水は澄んでいた。
- ・今回はこれまでの結果と比較するとCOD値が4を超える地点が無く、流況には大きな変化がないことから要因の特定には至っていない。日を改めて別途確認したい。
- ・この川の調査地点は汽水域なので潮の干満で汚れが変わると感じている。漂着ごみが多いので7月にビーチクリーンをする予定である。



V 一斉調査結果の活用事例紹介

活用事例

ゆうすいの復活

三島ゆうすい会

連絡先：〒411-0856 三島市広小路町12-5
URL <http://www.yusui.org/>
E-mail river@yusui.org

かつて三島は水の都といわれ、町のいたるところに富士山からの湧水が溢れる自然豊かな町でした。ところが高度経済成長の時代、私たちの生活環境が変わり湧水がなくなりました。富士山麓に進出した用水型企業が多くなり、田んぼが減って道路が舗装されるなどして、地下水位が下がったためです。

そして30年前、市民みんなで湧水を復活させようとしたのが三島ゆうすい会です。水が無くなりどぶ川となった川のゴミを拾い、水道の節水コマの普及、雨水浸透ますや天水尊の設置などの節水運動を行ってきましたが、社会生活の変化に追いつけず運動の成果に見るべきものが得られていません。

ところが、今年(2020年)、およそ60年ぶりに以前の湧水は復活したのです。三島の水のシンボル市立公園「楽寿園の小浜池」の水位が最高位になり、市内のあちこちに思わぬ湧水が再び姿を現しました。これは、昨年の19号台風時の大雨の余韻と今年7月の長雨の影響によるところが多く恒久的ではないと思いますが、この快挙も残念ながらコロナ禍のなか、大きな声で皆様に声をかけることもできません。市民の皆様にまずは水に親しんで貰おうと水質検査はもちろんですが、定期的な川掃除、小水力発電機の設置、紙抄きの講習会、七草粥の集い、ほたる祭りなどの活動を行っています。



楽寿園小浜池の満水



水質検査



三島梅花藻の里の整備

活用事例

参画と協働の武庫川づくりを流域住民の手で

武庫川づくりと流域連携を進める会

連絡先：〒665-0836 兵庫県宝塚市清荒神2丁目19-16 (有)IDP内
E-mail yosihdahr@nifty.com reggae@gol.com
HP-URL https://2011muko.jimdo.com/

はじめに

当会は、兵庫県の武庫川流域圏において兵庫県武庫川流域委員会の有志委員と流域住民が、同委員会の提言書にある「住民の参画と協働による武庫川づくり」を実現するために2007年に設立した住民と行政のパートナー・中間支援組織団体です。私たちは「武庫川守」と称し、「天然アユが遡上できる人を含む多様な生きものが安寧に暮らせる健全な水循環の巡る流域圏づくり」をテーマに流域内外を含むあらゆる連携を駆使しながら住民と専門家、行政が三位一体となって実現する住民主体の川づくりをリードします。三位一体の川づくり協議会「武庫川づくりサイエンスコンシル」を設置し、テーマを3つの活動分科会に分けて武庫川に興味のある誰もが楽しみながら参加できる365日の武庫川づくり実践活動を実施しています。

水辺や流域環境の実態に基づいた提言の発信 そして 流域圏内外の活動団体や個人との連携



2008年から開始した水辺の環境調査



ウォッチング：甲子園浜海浜の自然環境を守る会と連携



第2回水質フォーラム 車座で武庫川談義 2019.3.

ウォッチング：

甲子園浜海浜の自然環境を守る会と連携

主要な活動

水質調査 全国一斉水質調査と独自調査
武庫川ウォッチング 生きもの・河川環境の観察会調査
非常時の現地視察 災害や異常時の現地視察・調査
武庫川守活動 武庫川の実態調査発信と各種情報収集
各種イベント参加 他団体連携活動・パネル出展等
懇談会 行政・活動団体
武庫川づくりサイエンスコンシル(川づくり協議会)
武庫川づくり水辺の環境フォーラム 開催

【当会流武庫川づくりの特色】

「武庫川づくり水辺の環境フォーラム」を開催し、1年の活動成果を発表するとともに新たな知見の風を吹き込むことを広く発信し、フォーラムの提言から次の活動指針を見出す(PDCA)ことで温暖化の影響や感染症との共存社会を背景に、常に最新最善のいい川づくりの実践を目指します。

コラム

パックテストをもっと便利に
スマートフォン専用アプリのご紹介

2020年4月に公開したiPhone®専用アプリ「スマートパックテスト」は、発色させたパックテストをカメラで撮影し、濃度の判定を行なうアプリです。目視判定では難しい標準色の中間色の判定も、アプリならお手のものです。さらにアプリでは、測定値を標準色よりも細かい値でデジタル表示する事もできます。

使い方は、とても簡単です。まず、測定したい項目を選択し、撮影場所を入力します。撮影場所の入力は、GPS機能を使えば緯度・経度まで自動で入力することが可能です。次に、発色させたパックテストを標準色の上に置き、一緒に撮影します。あとは画面の指示にしたがって操作するだけで、濃度が自動的に判定されます。

判定結果は、端末本体に保存されますので、測定後に見返すことが可能です。測定場所も一緒に保存されるので、どの地点の測定結果なのかを見る事もできます。

測定項目は、7項目(BOD、残留塩素(遊離)、COD(低濃度)、COD、6価クロム、全クロム、亜鉛)あり、今後も随時追加の予定です。App Store®で無償ダウンロードができますので、ぜひ一度、スマートパックテストの手軽さをお試しください。

本アプリは現在iPhone®での対応のみとなっております。アンドロイド搭載の端末ではご利用いただけませんので、ご了承ください。



COD, アンモニウム, 亜硝酸, 硝酸, リン酸, 溶存酸素 など
河川・湖沼のモニタリングに！

誰でも、どこでもできる 水質の簡易分析製品



株式会社 共立理化学研究所
KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab., Corp.

https://kyoritsu-lab.co.jp
神奈川県横浜市緑区白山1-18-2 ジャーマンインダストリーパーク
TEL: 045-482-6937

バックテスト 検索

住所を変更いたしました

VI 継続調査参加団体

VII 全国水環境マップ 実行委員会名簿

皆 勤 賞									
17年参加(結果提出)団体 (合計78団体) 個人参加1名を含む									
北海道	NPO法人十勝多自然ネット	茨城県	阿見町	東京都	浅川流域市民フォーラム	山梨県	風間・瀬澤グループ		
山形県	美しい山形・最上川フォーラム	茨城県	河内町	東京都	八王子ランドマーク研究会	山梨県	メダカクラブ		
茨城県	一般社団法人霞ヶ浦市民協会	茨城県	桜川市	東京都	八王子中央地区環境市民会議	長野県	諏訪湖クラブ		
茨城県	国土交通省 霞ヶ浦河川事務所	茨城県	利根町	東京都	八王子市東南部環境市民会議	静岡県	三島ゆうすい会		
茨城県	石岡市	茨城県	土浦市	東京都	程久保川を考える会	愛知県	尾張西部生態系ネットワーク T・海部野川		
茨城県	龍ヶ崎市	埼玉県	新河岸川水系水環境連絡会	東京都	八王子市北部環境保全推進地区市民会議	滋賀県	認定NPO法人びわこ豊穡の郷		
茨城県	牛久市	埼玉県	環境を考える市民の会・むさし村山	東京都	八王子西南部環境市民会議	京都府	相楽環境委員会		
茨城県	つくば市	東京都	東久留米ホテルを呼びもどす会	東京都	(公社)東京都市山岳連盟自然保護委員会	大阪府	公益財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構		
茨城県	鹿嶋市	埼玉県	和光自然環境を守る会	東京都	東京NPO-21研究所	岡山県	旭川流域ネットワ		
茨城県	潮来市	東京都	川つくり清瀬の会	東京都	羽村・水と緑の会	山口県	榎野川観察会		
茨城県	稲敷市	埼玉県	NPO法人 エコシティ志木	東京都	あおばく・川を楽しむ会	徳島県	地藏橋駅前町内会環境委員会		
茨城県	筑西市	埼玉県	地域の自然を考える会	東京都	AMR	徳島県	徳島市市民環境部環境保全課		
茨城県	かすみがうら市	東京都	白子川源流・水辺の会	東京都	東京環境工科専門学校 増穂班	徳島県	ガールスカウト徳島第9団		
茨城県	茨城町	埼玉県	生活クラブ生協所沢東支部	東京都	NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム	徳島県	ガールスカウト徳島第7団		
茨城県	小美玉市	埼玉県	埼玉西部・土と水と空気を守る会	東京都	林・宮島ファミリーズ	愛媛県	NPO法人かわうそ復活プロジェクト		
茨城県	笠間市	東京都	西東京生活者ネットワーク	東京都	国分寺みずっこクラブ&国分寺地下水の会	高知県	NPO法人仁淀川お宝探偵団		
茨城県	鉾田市	東京都	自由学園	東京都	東京都市大学 小堀・威研究室	沖縄県	リュウキュウアユを蘇生させる会		
茨城県	神栖市	東京都	明法中学高等学校 科学部	新潟県	NPO法人新潟水辺の会				
茨城県	行方市	埼玉県	東川を愛する会	山梨県	Yamanashiみずネット				
茨城県	美浦村	埼玉県	NPO法人 荒川流域ネットワーク	山梨県	大泉・水と緑を守る会				

10年以上の参加団体 (今年度参加をした上記以外の団体) 222団体 (内個人13名)									
北海道	帯広稲田川自然の会	埼玉県	かわごえ環境ネット	神奈川県	辻堂びわこクラブ	長野県	NPO法人 みどりの市民	大阪府	清水1東町会
北海道	留萌川を楽しむ会	埼玉県	育てる会	神奈川県	フタシロ一帯さんち	長野県	NPO法人長良川環境ネット協会	大阪府	アイラブ城北川実行委員会
北海道	こどもエコクラブくしろ JEC	埼玉県	市野川エコクラブ	神奈川県	NPO法人なつとわく福島県	岐阜県	NPO法人飛騨小坂200歳	大阪府	バグズニックエコリレージャパン(事務局)
北海道	機春別川をよくする市民の会	埼玉県	荒川の自然を守る会	新潟県	新潟市民大講義会	岐阜県	日本武蔵谷谷道場スポーツ少年団 JEC	大阪府	日本武蔵谷谷道場スポーツ少年団 JEC
北海道	利根別川をきれいにする市民の会	埼玉県	鶴ヶ島自然を守る会	新潟県	湯上水辺の会	静岡県	NPO法人 環境研究所黎明	兵庫県	養殖いさもののふれあい町屋
北海道	十勝川のシヤマをの会	埼玉県	熊谷の環境を考える連絡協議会	新潟県	川守を守る会	愛知県	天白・川辺の東校	兵庫県	水環境ネット出石
北海道	新羅水産高校	埼玉県	生活クラブ生協所沢東支部	新潟県	新潟県西蒲原土地改良区	愛知県	たかから子どもエコクラブ	兵庫県	北はりま公園空間博物館
青森県	NPO法人水辺の楽校まへち	埼玉県	東洋水学	新潟県	越後新川まちおもしろの会	愛知県	嵐越・堀川と生活を考える会	兵庫県	六甲めだか公園
青森県	奥入瀬川クリーン対策協議会	埼玉県	みず・水と緑の会	新潟県	西川を創る会	愛知県	みなと塾	兵庫県	兵庫県地球温暖化防止活動推進員
岩手県	大沢水環境委員会	埼玉県	小睦の会	新潟県	自然環境見守り隊	愛知県	吉川流域ヘルネッサンス協議会	兵庫県	武庫川づくりと流域連携を進める会
宮城県	仙台リバーズネット梅田川	埼玉県	白岡市水環境保全協会の星野会	新潟県	エコクラブ サンダーバード	三重県	NPO法人 渚生野考現倶楽部	兵庫県	瀬水すつきやんバレー
宮城県	「伝説」みぎやまを環境くらしネットワーク(MELON)研究会	千葉県	カヌークラブかわせみ	新潟県	五十川川を愛する会	滋賀県	NPO法人湖田川ハバリエ隊	兵庫県	白旗中学校・高等学校 生物部
福島県	夢はたもこおり	千葉県	自然観察やまほし JEC	新潟県	小矢部川に学ぶ会	滋賀県	野洲川に親しむ会	兵庫県	石川町水道協会
福島県	西郷くらしの会	千葉県	河内環境変化の会	富山県	みずはく地産学委員会	滋賀県	湖南流域環境保全協議会	和歌山県	水子島公民会の会みどりセンター
福島県	白河くらしの会	千葉県	二重川に親しむ会	富山県	若月ファミリーズ	滋賀県	草津塾	鳥取県	児島湖流域エコクラブ
福島県	夏井川流域の会	千葉県	多摩川水辺の楽校	山梨県	まちづくり特習塾	滋賀県	東栗市役所	岡山県	とよよエコクラブ JEC
茨城県	みどりの会	東京都	浅川源流水辺の楽校	山梨県	富士川ファンクラブ・市川大門地区	滋賀県	NPO法人環境を考える会	岡山県	フジみどりの少年団 JEC
茨城県	茨城県山岳連盟自然保護委員会	東京都	Ku&Kaki	山梨県	富士川ファンクラブ・南部地区	滋賀県	NPO法人琵琶湖ネット津津	岡山県	芦田川環境マシメントセンター
群馬県	城沼を考える市民会議	東京都	八王子市西部環境市民会議	山梨県	富士川ファンクラブ・六蔵地区	滋賀県	琵琶湖の水と地域の環境を守る会	広島県	NPO法人 宮川西谷川を良くする会
群馬県	NPO法人新田環境みらいの会	東京都	八王子東部環境市民会議	山梨県	富士川ファンクラブ・身延地区	滋賀県	鹿沼の水 甲賀流域環境保全協議会	徳島県	水と里ネット 芳崎
東京都	北川カッパの会	東京都	NPO法人環境活動センター八王子	山梨県	みずネット・おまがわ	滋賀県	野洲川を愛する会	徳島県	個人参加
埼玉県	白子川流域の水環境をよくする会	東京都	せとかや野川の会	山梨県	山田川グループ	滋賀県	茶室川を美しくする会	香川県	土橋川生物研究会
東京都	東久留米はとけどうを守る会	東京都	公益財団法人 全国上下水道コンサルタント協会	山梨県	みずみし	滋賀県	浅海めだかの学校	高知県	香美市婦人会
東京都	不老川流域川づくり市民の会	東京都	稲生水辺の楽校運営協議会	山梨県	富士川ファンクラブ・増穂地区	滋賀県	信奈の川自然愛護の会	高知県	公益財団法人西万十財団
埼玉県	かわごえ環境ネット 新河岸川水系グループ	東京都	神田川ネットワーク	山梨県	小地ファミリーズ	滋賀県	甲南高校 バイオとかがく系列	高知県	横倉山自然の森博物館友の会
埼玉県	生活クラブ生協狭山支部	東京都	(公社)埼玉県生態系保護協会戸田・東支部	山梨県	ハッパ野鳥クラブ	滋賀県	滋賀県企業庁水浄水場	福岡県	水の会
東京都	NPO法人 空堀川に清流を取り戻す会	東京都	いたばし野鳥クラブ	山梨県	真査護チーム	滋賀県	東近江環境保全ネットワ	福岡県	NPO法人遠賀川流域住民の会
埼玉県	砂川流域ネットワーク	東京都	北區水辺の会	山梨県	富士川ファンクラブ・中富地区	滋賀県	八幡堀を守る会	福岡県	遠賀川源流の森づくり推進会議
埼玉県	藤瀬川をきれいにする会	東京都	NPO法人センスオブアース	山梨県	富士川ファンクラブ・三陸地区	滋賀県	東近江水環境自治協議会	福岡県	桂渡川を愛する会
東京都	空堀川を考える会	東京都	川口市立南中学校科学技術部	山梨県	山田ファミリーズ	滋賀県	京都市環境保全推進員連絡会議	福岡県	田川ふるさと川づくり交流会
東京都	北多摩自然環境連絡会	東京都	以東自転車エコライの会	山梨県	イデチ	滋賀県	大宮川を美しくする会	福岡県	ひこさんぐわの会
埼玉県	熊目川に親しむ会	東京都	塩江川環境を考える会	山梨県	下流出張所	滋賀県	人と自然を守る会	福岡県	遠賀川い・ゆフェスタ実行委員会
埼玉県	生活クラブ生協朝霞支部	東京都	美しい多摩川フォーラム	山梨県	生活クラブ生活協同組合(山梨)	滋賀県	大津市河川愛護団体連合会	福岡県	響みどりの会
埼玉県	所沢市立東中学校おやしの会	東京都	NPO法人浅川緑のヘルネッサンス	山梨県	下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会	滋賀県	瀬所南部の川を美しくする会	福岡県	龍王・山・里・川の会
埼玉県	あさか環境市民会議	東京都	バックテス共の会	長野県	千曲川水と昆虫研究会	滋賀県	天祥川を美しくする会	佐賀県	株式会社 ミノタ
埼玉県	NPO法人 和光・緑と湧き水の会	東京都	和光・緑と湧き水の会	長野県	戸隠地質化石博物館	滋賀県	三田川をきれいにする会	佐賀県	NPO法人技術交流フォーラム
東京都	川クラブ	神奈川県	CCたかつ	長野県	飯水自然調査研究委員会	滋賀県	穂積川上流を美しくする会	長崎県	リバーグリーンクラブ72
埼玉県	清瀬の環境を考える会	神奈川県	国土交通省 関東地方整備局 京浜川河川事務所	長野県	桂井水産会	滋賀県	榎根川を美しくする会	宮崎県	NPO法人大淀川流域ネットワーク
埼玉県	霞川くらしの楽校	神奈川県	いしかわ水と緑の会	長野県	川 水 会	滋賀県	びわ水環境	鹿児島県	おおすみ自然環境フォーラム
埼玉県	もりんど	神奈川県	NPO環境ファミリー葉山	長野県	エコボクラブ	滋賀県	木津川市こどもエコクラブ JEC	鹿児島県	西表マヤエコクラブ JEC
埼玉県	さいたま市リバーキープス	神奈川県	NPO法人 藤沢グリーンスタッフの会	長野県	長野市水環境研究サークル	京都府	アquareンズ	沖縄県	石垣島エコリズム協会
埼玉県	自然を守る狭山リサイクルの会	神奈川県	大岡川流域まちかわ会	長野県	グリーンヒル友の会	大阪府	大和川市民ネットワーク	沖縄県	アヅマの自然を守る会

この全国水環境一斉調査を実施するにあたり、全国各地の方々からなる「全国水環境マップ実行委員会」を2004年に設置しました。

実 行 委 員					
氏 名	役 割	団 体 名	都道府県	T E L	E - mail
小倉 紀雄	実行委員長	みずとみどり研究会	東京都	042-327-3169	mizutomidoriken@ybb.ne.jp
野村 直也	実行委員	NPO 法人十勝多自然ネット	北海道	0155-22-7511	nomura_n@arc-corporation.co.jp
金子 博	実行委員	NPO 法人パートナーシップオフィス	山形県	0234-26-2381	np-po@nifty.com
沼澤 篤	実行委員	一般社団法人霞ヶ浦市民協会	茨城県	029-821-0552	pcom@sea.plala.or.jp
渡邊 勇	実行委員	NPO 法人荒川流域ネットワーク	埼玉県	0428-31-7978	nabe0133@t-net.ne.jp
小倉 明	実行委員	新河岸川水系水環境連絡会	埼玉県	048-466-0916	99magari@googlegroups.com
小寺 浩二	実行委員	NPO 法人地域環境科学研究会	東京都	090-7253-7380	kodera6106@gmail.com
諏訪 祥子	実行委員	浅川流域市民フォーラム	東京都	042-621-1779	CBB00853@nifty.com
藤森 夏幸	実行委員	NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラム	東京都	03-3654-7240	renraku@cleanaid.jp
風間ふたば	実行委員	Yamanashi みずネット	山梨県	055-220-8193	kagerou@ymizunet.org
沼田 清	実行委員	信州水環境マップ・ネットワーク	長野県	0267-32-8608	ecolabo@f4.dion.ne.jp
金崎いよ子	実行委員	認定 NPO 法人びわこ豊穡の郷	滋賀県	077-583-8686	houjyounosato@lake-biwa.net
井阪 尚司	実行委員	NPO 法人蒲生野考現倶楽部	滋賀県	090-2012-2386	eco2@ex.bw.dream.jp
菱田 敏一	実行委員	公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構	大阪府	06-6920-3035	hozenkiko@byq.or.jp
竹原 和夫	実行委員	旭川流域ネットワーク	岡山県	090-1181-1090	okakawa2@yahoo.co.jp
生野 宜宏	実行委員	NPO 法人仁淀川お宝探偵団	高知県	090-1172-6994	shono@niyodriver.com
鈴木 祥広	実行委員	NPO 法人大淀川流域ネットワーク	宮崎県	0985-78-2655	info@oyodo-river.org
小野 朋典	実行委員	リュウキュウアユを蘇生させる会	沖縄県	090-1341-1847	ryukyuyuauono@gmail.com

※委員は、2020年11月6日現在

「パナソニック エコリレー ジャパン」は、

国内のパナソニックグループに集う会社、組合、退職者が「One Panasonic」として、地域社会と共に環境保全活動に積極的に参画し、持続可能な社会づくりに貢献しています。活動では、「森林」「緑地」「水」を中心とした生物多様性保全、里山保全につながる活動、自然教育活動などの地球環境保全活動全般を行い、従業員とその家族に温暖化防止やライフスタイルを見直す意識啓発に取り組んでいます。

特に「水を守る」活動としては、「身近な水環境の全国一斉調査」をはじめ、「河川・海岸清掃」や「ヨシ刈り」「外来種水生植物駆除」など、関係団体と連携し、積極的に取り組んでいます。



パナソニック エコリレー ジャパン 事務局 Email : ecorelay-j@gg.jp.panasonic.com
URL : <https://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship/environment/perj.html>

事 務 局	
氏 名	
高橋 克彦	
菅谷 輝美	
本間 君枝	
佐山 公一	

オブザーバー	
氏 名	
小堀 洋美	
咸 泳植	
波多野真樹	
天野 聡	
瀬戸内大樹	
加藤 智博	
松澤 秀典	
深澤 真智	
吉野 英夫	
田畑 和寛	
岡内俊太郎	
上田 実	
樋口 柚里	

身近な水環境を調べよう！

第18回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い

次回調査の予定

2021年6月6日(日)を統一調査日として、第18回の全国一斉調査の実施を予定しています。
後日、今回ご参加いただいたみなさんに実施のご案内をお送りしますのでよろしくお願いいたします。

小倉 紀雄

全国水環境マップ実行委員会 実行委員長

日頃、親しんでいる身近な水環境は簡単な方法で調べることができます。

「身近な水環境の全国一斉調査」は市民グループと河川管理者などと連携し、毎年6月5日の「環境の日（世界環境デー）」に近い日曜日に実施しています。本調査は、統一した調査マニュアルと簡単なキット（無償で配布）を用い、全国で一斉に行います。調査結果をわかりやすいマップとして表現することで、身近な水環境の様子が良くわかります。この調査を通して水環境に関する市民の理解と関心が、いっそう高まることも期待されます。

詳細な調査結果は、本調査専用ホームページ（URL <http://www.japan-mizumap.org/>）や国土交通省水管理・国土保全局のホームページ（http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyou/research/index.html）で公表されています。

実 施 日 2021年6月6日(日)
測 定 項 目 気温、水温、COD、その他
測 定 方 法 調査マニュアル、調査キットに基づき測定（※1）
参加申込と締め切り 専用ホームページダウンロードまたはP.22の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、下記の連絡事務局（みずとみどり研究会）に、**2021年3月10日（水）**までにご送付下さい。
なお、ご記入いただいた個人情報は今回の調査に関する連絡以外に、ご本人の許可なく使用いたしません。
参加申込された団体はホームページで公表させていただきます。

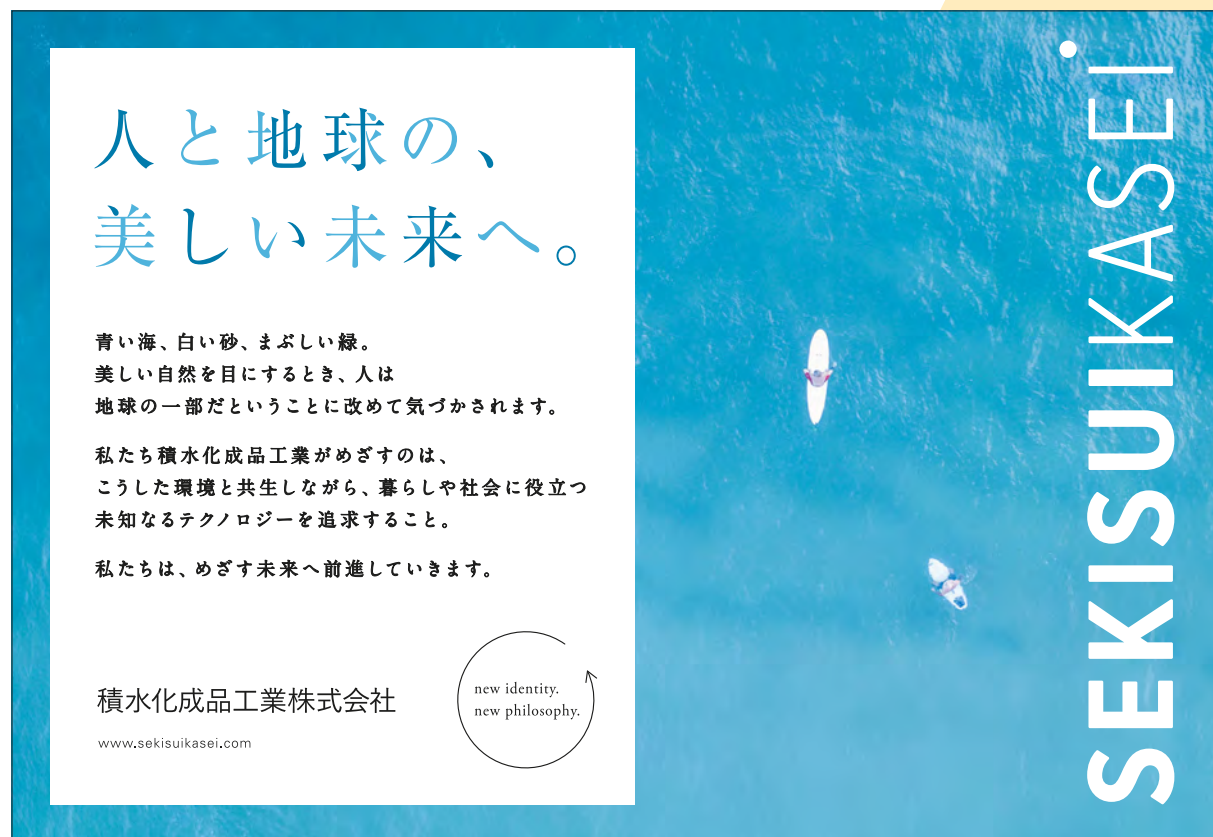
事務局からのお願い

申込後、お手元に水質調査キット類が届きましたら、必ず内容をご確認ください。

※1 調査キットは、参加申込者に2021年5月頃に配布予定です。

問合せ先

○全国水環境マップ実行委員会 事務局
みずとみどり研究会気付（申込・問合せ）
〒185-0021 東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202
TEL/FAX:042-327-3169 E-mail:mizutomidoriken@ybb.ne.jp



人と地球の、
美しい未来へ。

青い海、白い砂、まぶしい緑。
美しい自然を目にすると、人は
地球の一部だということに改めて気づかれます。

私たち積水化成工業がめざすのは、
こうした環境と共生しながら、暮らしや社会に役立つ
未知なるテクノロジーを追求すること。

私たちは、めざす未来へ前進していきます。

積水化成工業株式会社
www.sekisuikasei.com

new identity.
new philosophy.

SEKISUIKASEI

全国一斉調査 お申し込み先

FAX：042-327-3169 E-mail：mizutomidoriken@ybb.ne.jp

第18回 身近な水環境の全国一斉調査 参加申し込み用紙

参加申し込み用紙はホームページ(<http://www.japan-mizumap.org/>)からもダウンロードできます。 [Q](#) [身近な水](#) [検索](#)

2021年3月10日（水）までに必ずE-mailまたはFAXでお知らせ下さい。

■ これまでに全国一斉調査に参加したことはありますか

☐ 過去の参加あり ☐ 初めて

■ 参加グループ名

以前の全国一斉調査に参加された方でグループ名の変更がある場合には昨年の登録名もお書き下さい。団体名が異なると経年データとして結果が反映されません。

参加グループ名（個人参加の場合は参加者氏名、ただし個人情報保護の関係で個人名の公表は致しません）

変更前のグループ名

■ 参加グループの連絡責任者（個人参加の場合はご記入の必要はありません）

■ 連絡先（グループの場合は連絡責任者の連絡先、個人の場合はご自宅など）住所、電話、FAX、E-mail（特にE-mailアドレスははっきりとお書き下さい・携帯電話のE-mailは不可）

住 所：〒

電 話

FAX

E-mail

■ 調査予定地点名 河川名など 例) ○○県 ○○川、××用水路、△△池。

■ 河川以外の水路・水辺等で調査を実施しますか

河川以外の水路・水辺（農業用水路、ため池等）で行う調査地点がある場合には、原則として水路・水辺等の管理者や所有者の許可を得ることが必要となります。「はい」とお答えの方は別添「河川以外の調査了解調査票」にご記入の上、事務局に申し込み用紙と一緒に提出ください。（専用HP上の詳細マニュアルの注意事項を参照してください。）

☐ はい ☐ いいえ

■ 調査予定日 ただし、結果の返送締め切り日(6月末日)より前に実施してください。

☐ 6月6日に実施する ☐ 6月6日に実施できない【その場合の予定 月 日】

■ 調査予定地点数 水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください。

地 点（水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください）

■ 参加申し込みの確認はホームページ(<http://www.japan-mizumap.org/>)でできます。

※調査の風景などの写真送付にご協力ください。お送りいただいた写真はパンフレットやホームページに使用させていただきます。

協賛企業等を募集しています

協賛いただいた企業、団体につきまして広告を結果概要パンフレットに掲載させていただきます。
当結果概要パンフレットは身近な水環境の全国一斉調査に参加した皆さまや関連団体などに毎年約6,000～7,000部配布しています。
詳しくは、全国水環境マップ実行委員会事務局までご連絡下さい。